



いいで町

No.
142

議会だより



東日本大震災の復興を願って

6月議会(5回定例会)

議会も「環境にやさしい」活動に取り組んでいます



| | |
|------------------|------------|
| 定例会概要、補正、条例 |P2~P3 |
| 一般質問 |P4~P5 |
| 各常任委員会 |P6~P7 |
| 第三セクター各決算報告 |P8~P9 |
| 議会刷新検討委員会報告・研修報告 |P10 |
| 人事・意見書 |P11 |
| 読者の声・あとがき |P12 |

複数の委員会所属へ

概要

23年6月定例会は、6月6日から10日までの5日間の会期でした。

23年度各会計補正予算9件、条例改正2件、人事案件2件、第三セクター等の決算報告6件、意見書3件及びその他9件の31件を審査し、いづれも全員賛成で原案のとおり決定しました。

23年度各会計補正予算

一般会計（第3・4号）

飯豊公園にパークゴルフ場

総額に1億5843万円を追加し、54億5560万円としました。

◎補正予算の主なもの

| | |
|---------------------|----------|
| ○地域密着型特別養護老人ホーム整備補助 | 1億4028万円 |
| ○特別会計繰出金 | 748万円 |
| ○住宅耐震等リフォーム補助 | 600万円 |
| ○歌丸添川線凍上災復旧工事 | 450万円 |
| ○人件費の調整 | △1816万円 |
| ○飯豊公園パークゴルフ場整備 | 250万円 |



パークゴルフ場が設置される飯豊公園

6月定例会

議員定数 10人に

条例の一部改正

今年の選挙から10人

◎議会議員の定数を定める条例

現在12人の議員定数を、今年7月執行される町議会議員選挙から10人となります。

この条例改正は、部落長等会からの要望を受け、議会刷新検討特別委員会を設置し検討した結果、2人を削減し10人としたものです。

常任委員会を3つに

◎議会委員会条例

特別委員会を設置し、活動していた広報を常任委員会とするものです。

委員会の定数も総務文教・産業厚生
の常任委員数を各7人に、広報常任委員を6人にして、議員全員が複数の委員会に所属することとしました。

また、議会運営委員は6人から5人になります。

◎特別会計の補正額

| | |
|-----------|-------|
| ○国民健康保険 | 367万円 |
| ○介護保険 | 591万円 |
| ○訪問看護 | △93万円 |
| ○介護老人保健施設 | 317万円 |
| ○物品調達 | △30万円 |
| ○農業集落排水事業 | 1千円 |
| ○水道事業会計 | △3千円 |

6 特別会計 1 事業会計とも人件費の調整が主な補正です。



地域密着形特別養護老人ホーム完成予想図

一般質問

町民の生命・財産を守るために



鈴木敏夫 議員

○地域防災計画の見直しについて

○高齢者等の避難対策について

○防災無線計画の内容について

○第三セクター改革について

○避難者の雇用対策について

○青少年の健全育成について

質問 町の防災計画の対応は。
質問 高齢者・障害者等の避難対策は。

防災体制を見直し

町長 防災体制抜本見直し班を設置し対策を検討しています。
備蓄状況は十分でないため、具体的に検討しています。

援護者避難支援体制で

町長 災害時援護者避難支援プランを策定し支援を行っています。
質問 防災無線事業の内容は。

防災無線設置を検討

町長 災害時、県との連絡や情報収集に利用しています。防災無線設置の検討を進めています。

質問 第三セクター改革は。

早急に対応を検討

町長 庁舎内に設置している第三セクター活性化検討委員会の状況などを勘案しながら、類似団体の統合も視野に検討します。

臨時特例基金で対応

町長 県の緊急対策創出事業臨時特例基金を

使って、20人の雇用で進めています。

質問 避難児童・生徒の青少年健全育成のための環境づくりは。

現物支援を中心に実施

教育委員長 通学手段の確保や教科書の支給手続き・学生服等の救済物資としての手配等に取り組んでいます。

その他の質問

Q 避難児童・生徒の心のケア等の対応は。

A 学習支援などで対応しています。

Q 友好姉妹都市構想を検討しては。

A 重要な懸案で、検討します。



一般質問

大災害に備えて



後藤 恵一郎 議員

地域防災と

まちづくりについて

質問 この度の、東日本大震災により各地で防災計画の見直しや危機管理のあり方が問われています。

以上の高齢者が50パーセント以上を占める限界集落は11集落、道路の損壊等で外部からのアクセスが途絶し、人の移動や物資の流通が困難もしくは不可能となる恐れがある孤立集落は15集落があり限界集落はすべて孤立集落です。また、孤立集落となり得る要因としては土石流・山腹崩壊等で避難所がない集落は3カ所存在します。

本町において限界集落や孤立集落、高齢化地域そして水害や地盤の弱い地域などに対する対策は万全なのか。また、平成22年3月に策定された「飯豊町建築物耐震改修促進計画」の進捗状況を伺います。

このような状況をふまえ、詳細な把握と対応策について地域防災計画の見直しと併せて

計画の見直しが必要

町長 本町では、65歳

以上の高齢者が50パーセント以上を占める限界集落は11集落、道路の損壊等で外部からのアクセスが途絶し、人の移動や物資の流通が困難もしくは不可能となる恐れがある孤立集落は15集落があり限界集落はすべて孤立集落です。また、孤立集落となり得る要因としては土石流・山腹崩壊等で避難所がない集落は3カ所存在します。

早急に策定していきま
す。
9日号に掲載）
質問 町内の学校は全
て町指定避難所になっ
ており、現在耐震診断
調査が実施されている
が子供たちの安全の確
保、指定避難所の観点
から早急に進めるべき
だと思いがその進捗状
況を伺います。
町長 町では地震や火
事などの災害発生時に
自力で非難が難しいと
想定される方を災害時
要援護者と定め、個別
の状況に合わせた非難
支援を実施します。
そのため、要支援者
の身体状況や家の間取
り、家族の連絡先など
を把握し、個別の台帳
として町が保管します。
さらに、それらの情
報を民生委員、児童委
員、消防団などの関係
者で共有し、迅速な支
援を行っていきます。
（災害時要援護者につ
いては広報いいで6月

災害時要援護者個別 非難支援計画を実施

平成27年度までに完了

教育長 耐震診断調査は平成22年度に第一小を実施し、平成23年度には手ノ子小、平成24

年度には中津川小を
実施する計画です。
耐震補強などの工事
計画は、第一小が平成
25年度と26年度の2カ
年を計画しています。
ただし、第一小が改
築による整備となった
場合は、財政的負担や
実施設計までの進捗状
況により、着手年度が
1年遅くなる場合も考
えられます。
いずれにしても、町
耐震化促進計画に定め
てある平成27年度まで
に完了したいと考えて
います。



後世に伝える為に惨状保存（淡路島）

火災警報器まだ70%の設置

総務文教常任委員会

各課からの報告

◇総務企画課

○地デジ放送難視聴は9地区。11月末工事完了予定ですが、それまで衛星放送で対応。

○6月16日、平成24年町重要事業要望17項目。

○添川地区農業集落排水事業、介護保健施設スプリンクラーについて6月下旬入札執行。

◇住民税務課

○6月26日消防操法大会。

◇教育文化課

○6月6日 子ども手当て2月から5月までの4カ月分支給。

○避難児童生徒受入状況は小学生20名・中学生3名。

○6月20日より町民プール学校利用開始。

6月25日より一般開放。手ノ子小学校プール改修工事6月末工期。

○6月16日、第一小学校耐震化についての成果品納入。

○6月19日、フエツ

質問と答弁

問 放射能の計測数値の結果と町民プールの数値は。

答 空間線量と地表では県報告と同様です。

放射線粒子量については、異常数値ではないが、プールにおいては水質検査で異常がないため、同様と考えています。

問 町民プールのお盆休みの利用と中津川の町民プールの再開について。

答 監視員の確保等で難しいと思うが検討します。中津川のプールについては、建設から

ト・ドラミュージック開催。
○チャリテーマラソン参加者100名程度。

38年経過し、水質管理も難しくなっており、今年の使用中止とします。

問 第一小の耐震度調査の結果、方向性は。

答 耐震度調査の成果

品が上がってきているので、町民、教育委員会や外部の意見を聞きながら、統合も含め、総合的判断をしながら慎重に進めています。

問 校庭、園庭、グラウンドへの芝生植栽について考えは。

答 一般的に設置管理費用がかさみますが、

割安な鳥取方式等、芝生の状況を見学し、一施設にモデル的にできないか考えています。

問 火災警報器の設置が義務づけられたが、設置状況は。

答 平成22年12月末で

64・2%の設置率ですが70%程度になつていると推測されます。今後も広報に努めていき

問 ペレットボイラーが庁舎に設置される。南側の階段を壊して、ペレット格納庫を建てる計画ですが西側からの取り入れの方が有効では。

答 テニスコートや車庫も検討しましたが、

ボイラーまでの距離も長く、ペレットが粉状になりボイラーに不具合が生じますが、見直しを含め研究します。



再開される手ノ子小プール

天狗山線崩落 稲作断念

産業厚生常任委員会

林道天狗山線

災害現場視察

去る5月24日午前に発生した林道天狗山線の大規模山腹崩落現場を委員全員で視察しました。現場はこれまでも崩落災害が発生していた場所と接する上流部で、幅が100m高さ200mにおよび崩落土量は10万立方メートルという大規模なものです。

県では2次災害を防ぐため、水みちの確保崩落センサーの設置をし、この日は仮設道路が完成したので奥に取り残された車やトラックターの搬出が行われていました。現場の状況から人的被害がなくて本当に良かったと感じました。今年の上流の稲作は断念せざるを得ないという状況です。



林道天狗山線視察

各課からの報告

◇地域整備課

○新潟山形南部道路整備促進住民大会が秋に本町物産館で行われます。

○住宅リフォーム支援事業の枠が15軒分残っています。

◇健康福祉課

○子宮頸癌ワクチン接種についての講演会開催。

○放射線と健康に関する講演会開催。

◇産業政策担当

○プレミアム商品券が7月販売されます。
○どんでん平ゆり園が6月11日開園します。

質問と答弁

問 第3セクターの資金不足が見受けられるが、このままで運営できますか。

答 非常に厳しい状態のところもあります。何らかの支援が必要と思われませんが、補助や安易な借入れでなく方法を考えます。

問 バーク堆肥会社はその後どのような運営をしていますか。

答 事業は停止状態に含めて、早く解決するべきでは。

問 大規模林道で昨年の工事箇所における雪害の説明があつたが、その後どう進んでいますか。

答 飯豊町は建築確認区域が他に比べて広いが、どうにかなりませんか。

答 確かに本町は極端に広いので、ゆるめられないか県と協議していきます。

報告

土地開発公社 第三セクター 決算

平成22年度土地開発公社及び第三セクター（町の出資比率50%以上の法人）の決算が今定例会に報告されました。

公社では、中ノ目住宅団地（19）が売却され、完売となりました。

第三セクターにおいては、各会社とも、経済不況や燃料等の高騰による影響を受けて、利用客が減少し厳しい営業状況であり、今後の経営改善策が求められます。

▲は赤字を表わす



完売された中ノ目団地

飯豊町土地開発公社 損益計算書

| 科目 | 金額 (単位円) |
|------------|------------|
| 完成土地等売却収益 | 3,208,000 |
| 完成土地等売却原価 | 4,302,270 |
| 開発中土地売却収益 | 0 |
| 販売費及び一般管理費 | 526,874 |
| 特別損失 | 0 |
| 事業外収益 | 346,621 |
| 当期純利益 | ▲1,274,523 |

飯豊めざみの里(株) 損益計算書

| 科目 | 金額 (単位円) |
|------------|-------------|
| 売上高 | 631,502,664 |
| 売上原価 | 388,748,924 |
| 販売費及び一般管理費 | 240,408,770 |
| 営業外収益 | 2,476,736 |
| 営業外費用 | 1,310,614 |
| 特別利益 | 59,195 |
| 税引後当期純利益 | 1,124,982 |
| 前期繰越利益 | 5,539,928 |
| 当期末処分利益 | 6,664,910 |



ふるさと公社山菜まつり

(有)どんでん平ゆり園 損益計算書

| 科目 | 金額 (単位円) |
|------------|--------------|
| 売上高 | 46,782,010 |
| 売上原価 | 16,103,997 |
| 販売費及び一般管理費 | 30,654,708 |
| 営業外収益 | 393,585 |
| 営業外費用 | 176,286 |
| 税引後当期純利益 | 55,287 |
| 前期繰越利益 | ▲ 20,068,133 |
| 当期未処分利益 | ▲ 20,012,846 |

(株)緑のふるさと公社 損益計算書

| 科目 | 金額 (単位円) |
|------------|--------------|
| 売上高 | 202,869,973 |
| 売上原価 | 53,565,510 |
| 販売費及び一般管理費 | 166,839,727 |
| 営業外収益 | 2,901,174 |
| 営業外費用 | 1,227,056 |
| 税引後当期純利益 | ▲ 16,048,024 |
| 前期繰越利益 | ▲ 51,225,108 |
| 当期未処分利益 | ▲ 67,273,132 |



ゆりの開花

(株)飯豊町産業開発公社 損益計算書

| 科目 | 金額 (単位円) |
|------------|--------------|
| 売上高 | 226,123,177 |
| 売上原価 | 79,746,375 |
| 販売費及び一般管理費 | 151,251,176 |
| 営業外収益 | 6,053,374 |
| 営業外費用 | 666,587 |
| 税引後当期純利益 | 241,189 |
| 前期繰越利益 | ▲ 19,080,841 |
| 当期未処分利益 | ▲ 18,839,652 |

(有)エルベ 損益計算書

| 科目 | 金額 (単位円) |
|------------|-------------|
| 売上高 | 31,709,607 |
| 売上原価 | 12,469,947 |
| 販売費及び一般管理費 | 27,605,452 |
| 営業外収益 | 1,437,813 |
| 営業外費用 | 94,975 |
| 税引後当期純利益 | ▲ 7,105,101 |
| 前期繰越利益 | 53,668 |
| 当期未処分利益 | ▲ 7,051,433 |

議会刷新検討特別委員会

広報も常任委員会に

報告

議会運営を刷新し、議会の活性化を図るため、議長を除く議員全員で設置され、3月11日から5月30日までの間に10回の委員会を開催し調査しました。

◎審査の結果

議会運営を刷新し、議会の活性化を図るため、議長を除く議員全員で設置され、3月11日から5月30日までの間に10回の委員会を開催し調査しました。

(1) 議員定数について

部落長等会からは、8人という要望がありました。しかし、議会の運営や地方自治体の意志決定機関としての役割を果す上で10人が妥当という結論に至りました。

委員長 長沼 桂子
副委員長 岡田美樹雄
を選任し、また、効率的な調査を行うため、小委員会を設置し検討。

(2) 常任委員会の在り方

小委員会の委員には、手塚敏行 後藤恵一郎 八島伝内 岡田美樹雄 長沼桂子の5人を選出しました。

総務文教、産業厚生に広報を加えた3常任委員会とし、全員が複数に所属することが望ましい。

◎審査の方法

(1) 議員定数について
(2) 常任委員会の在り方
(3) 議会基本条例の制定の3つに分け審査しました。

(3) 議会基本条例の制定

基本条例は制定する必要があるが、任期中は難しいことと、町基本条例と共に制定することが望ましいことから、新体制に委ねることになりました。

議員視察研修

阪神淡路大震災からの復興

報告

平成23年5月23日から25日までの3日間、兵庫県の北淡震災記念公園と阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」を視察してきました。直接、被害はなかつたにせよ、3月11日におきた地震の影響を考えると、他人事とは思えず、非常に関心をもって研修しました。

最初の北淡震災記念公園では、阪神・淡路大震災の被害の大きさと断層による破壊状況を見学し、自然の脅威を目の当たりにしてきました。

人と防災未来センターにおいては、

1、展示
2、資料収集、保存
3、災害対策の専門職員の育成
4、実践的な防災研究と若手防災専門家

5、災害対応の現地支援
6、交流、ネットワークの機能で活動していただきました。

東日本大震災の被害は、阪神淡路大震災と比較にならない程大きい訳ですが、見事に復興された経験を基に一日も早い復興を祈念し視察研修報告といたします。

人と防災未来センターにおいては、

1、展示
2、資料収集、保存
3、災害対策の専門職員の育成
4、実践的な防災研究と若手防災専門家



記念館視察

人事

飯豊町固定資産評価 審査委員の選任に同意

○住所 飯豊町大字手の子
氏名 五十嵐 眞 (69)

飯豊町農業委員会 委員を議会で推薦

○住所 飯豊町大字添川
氏名 遠藤美佐子 (56)

○住所 飯豊町大字添川
氏名 高橋 幸子 (51)

お詫び

前号に掲載しました豊川財産区管理会委員に次の方を記載漏れました。お詫びし追加します。

住所 飯豊町大字高峰
氏名 山口 正春 (61)

意見書

◎震災からの復興に向けた補正予算の早期編成を求める意見書
◎当面の電力需給対策に関する意見書

今般の未曾有の大災害から一刻も早い復興を実現するため、早期に第二次補正予算を編成するよう要望する意見書
夏場の電力不足を前に、予算措置を含めた電力需給対策を早急に打ち出すことを要望する意見書

3意見書とも全員一致で可決。政府・国会に意見書を提出することにしました。

東日本大震災による大きな津波被害を後世に伝え、津波から国民の生命・財産を守る決意を示すためにも、津波対策推進法案の早期成立を要望する意見書

町道路路線の認定

地域生活圏の整備及び産業振興を図るため、農道を町道に認定するものです。

路線名 二本松歌丸線
始点 黒沢二本松
終点 長井市歌丸字上川原
延長 654 ㍎

ロータリ除雪車の購入

購入先 南陽市 (株) K C M J 南陽営業所
取得価格 2058 万円



今年の雪も万全

読者の声

今こそ真価が問われる時



大字 橋
松山 和好さん

50年余りも生きてい
るといろいろな事に出
会うものであるが、こ
の度の震災は津波と地
震、それに今まで経験
のない原発事故の発生。
私達一人一人が一日を
大切にし、生きていま
すがその前に日本人、
日本国家の一員であり
ます。ただ現在のみな
らず国家の明日、未来
までの存続を任せられ
ていることを自覚しな
くてはならないと思い
ます。機械でも人間で
も、その真価は、順調
の中にある時ばかりで
はなく、難儀に遭遇し

た時にこそ現れてくる
ものだと思います。
その意味では、敗戦
時に自分一人で責任を
負おうとした昭和天皇
の姿は、現在の国会議
員とは対極に見えてき
ます。世界とか日本と
かの範囲になると、床
屋さんでシャンプーの
時に理容師さんに痒い
ところを告げても、な
かなかびつたりのとこ
ろを搔いてもらえない
もどかしさがあるが、
これと似たようなもの
であるかもしれない。
しかし、町内の事な
らば自分たちがやりさ

えすれば良い話である。
奇しくも町議会選挙が
始まる。次の議会を担
う議員の皆さんにはビ
ンバシとやってもらい
たいものです。有権者
宅前の道路の修理だと
か、何かを造るだとか
馬の目の前にニンジン
をつるしたりしないで、
循環継続可能なことを
ためしてもらいたいも
のです。

あとがき

広報特別委員会とし
ての最終号を編集し終
え、誰からともなく御
苦労様の声。4年間で
16回の発行でしたが、
表現方法や写真の位置
取りなどに不満は残る
ものの大勢は素人にし
ては上出来と自我自賛
の気持です。
この間、皆様方には
御愛読いただきました
ことに心から感謝申し
上げます。
8月の改選後は、広
報常任委員会となり、
委員数も5人から6人
より充実した内容で議
会の動きや、活動状況
をお知らせできると思
いますのでご期待下さ
り、より一層の御愛読
をお願いします。
御協力ありがとうございます。
(岡田記)



- | | |
|-------|-------|
| 発行責任者 | 菅野富士雄 |
| 広報委員長 | 船山 清一 |
| 副委員長 | 長沼 桂子 |
| 委員 | 岡田美樹雄 |
| | 八島 伝内 |
| | 鈴木 敏夫 |